



平成30年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年7月12日

上場会社名 株式会社白鳩 上場取引所 東
 コード番号 3192 URL <http://www.shirohato.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池上 正
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 服部 理基 (TEL) 075-693-4609
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第3四半期の業績(平成29年9月1日～平成30年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第3四半期	4,044	7.4	175	27.8	161	60.2	109	76.1
29年8月期第3四半期	3,765	11.9	137	△5.5	100	△27.7	61	△28.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年8月期第3四半期	20.15		20.06					
29年8月期第3四半期	13.64		13.56					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第3四半期	3,857	2,820	73.1
29年8月期	3,518	1,425	40.5

(参考) 自己資本 30年8月期第3四半期 2,820百万円 29年8月期 1,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	9.00	9.00
30年8月期	—	0.00	—	—	—
30年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,464	7.5	200	△1.2	185	12.3	125	△10.7	21.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年8月期3Q	6,638,000株	29年8月期	4,820,800株
② 期末自己株式数	30年8月期3Q	117株	29年8月期	64株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年8月期3Q	5,417,996株	29年8月期3Q	4,544,213株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続いており、国内景気も緩やかな回復基調が続いておりますが、米国の通商・金融政策や新興国の政治・経済に関しては依然として不透明な状況にあり、回復基調にあるものの先行きは不透明な部分もありました。

小売業界におきましては消費者の節約志向は依然として強く、さらには雇用情勢の改善に伴う採用難、ネットやリアル店舗などへの消費者の購買行動の変化により企業間競争が一段と激しさを増すなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社におきましては「感動するインナーライフっていいね!」という企業理念のもと、他サイトとの差別化を図るべく、引き続き新規ブランドの取扱いや品揃えの拡充、OEM商品の販売強化にも注力し、Yahoo!ショッピングにおいて2017年間ベストストア、インナー・ルームウェア部門1位を受賞するなど、顧客からの支持を得られるサイト運営に取り組みました。

一方、当社が、さらなる持続的成長を果たしていくために、小田急電鉄社への第三者割当増資を実施することで財務基盤の強化を図り、新規事業開発のスタートとして、自社開発のEC基幹システムの販売に向けた人材投資や、新倉庫及び物流センターの開発計画を加速させてきました。

この結果、第3四半期累計期間における売上高は4,044,155千円（前年同期比7.4%増）、営業利益は175,236千円（前年同期比27.8%増）、経常利益は161,398千円（前年同期比60.2%増）、四半期純利益は109,185千円（前年同期比76.1%増）となりました。

なお、当社は、WEBサイトでのインナーショップ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、3,857,227千円となり、前事業年度末と比較して338,992千円の増加となりました。

流動資産は1,972,968千円となり、前事業年度末と比較して356,958千円の増加となりました。その主な要因は、商品の増加（前事業年度末より175,712千円増加）、現金及び預金の増加（前事業年度末より77,660千円増加）、株式報酬制度の導入に伴う前払費用の増加（前事業年度末より47,789千円増加）及び売掛金の増加（前事業年度末より34,074千円増加）によるものであります。

固定資産は1,884,259千円となり、前事業年度末と比較して17,966千円の減少となりました。その主な要因は、保険積立金の増加（前事業年度末より4,284千円増加）、ソフトウェアの減少（前事業年度末より10,799千円減少）及び減価償却による建物（純額）の減少（前事業年度末より9,163千円減少）によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は1,036,653千円となり、前事業年度と比較して1,056,444千円の減少となりました。

流動負債は906,676千円となり、前事業年度末と比較して58,728千円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金の増加（前事業年度末より154,897千円増加）、支払手形からの切替えを進めたことによる電子記録債務の増加（前事業年度末より89,868千円増加）、金融機関からの借入金を全て返済したことに伴う1年内返済予定の長期借入金の減少（前事業年度末より138,329千円減少）及び支払手形の減少（前事業年度末より79,831千円減少）によるものであります。

固定負債は129,976千円となり、前事業年度末と比較して1,115,172千円の減少となりました。その主な要因は、金融機関からの借入金を全て返済したことに伴う長期借入金の減少（前事業年度末より1,117,510千円減少）によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は2,820,574千円となり、前事業年度末と比較して1,395,436千円の増加となりました。その主な要因は、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ増加（前事業年度末より各635,800千円増加）したこと、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ増加（前事業年度末より各28,105千円増加）したこと、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ増加（前事業年度末より各936千円増加）したこと、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加（前事業年度末より109,185千円増加）したこと及び配当金の支払いにより利益剰余金が減少（前事業年度末より43,386千円減少）したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年6月21日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	292,169	369,829
売掛金	323,080	357,154
商品	885,681	1,061,394
貯蔵品	14,019	17,312
前渡金	1,495	9,081
前払費用	19,167	66,957
繰延税金資産	29,634	34,146
未収入金	46,662	55,008
その他	5,272	3,380
貸倒引当金	△1,172	△1,297
流動資産合計	1,616,009	1,972,968
固定資産		
有形固定資産		
建物	482,380	487,926
減価償却累計額	△137,654	△152,363
建物(純額)	344,726	335,563
構築物	18,638	19,679
減価償却累計額	△12,084	△12,933
構築物(純額)	6,554	6,745
機械及び装置	9,136	9,136
減価償却累計額	△5,112	△5,636
機械及び装置(純額)	4,024	3,499
工具、器具及び備品	59,163	62,514
減価償却累計額	△51,931	△54,575
工具、器具及び備品(純額)	7,231	7,938
土地	1,291,928	1,291,928
リース資産	39,741	39,741
減価償却累計額	△26,040	△27,729
リース資産(純額)	13,700	12,011
有形固定資産合計	1,668,165	1,657,687
無形固定資産		
ソフトウェア	65,446	54,647
無形固定資産合計	65,446	54,647
投資その他の資産		
保険積立金	111,124	115,408
従業員に対する長期貸付金	1,653	1,320
出資金	813	813
差入保証金	8,217	7,177
敷金	5,830	5,830
破産更生債権等	502	2,414
長期前払費用	2,621	1,868
繰延税金資産	38,316	39,329
貸倒引当金	△465	△2,236
投資その他の資産合計	168,613	171,925
固定資産合計	1,902,226	1,884,259
資産合計	3,518,235	3,857,227

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	121,881	42,050
電子記録債務	26,846	116,715
買掛金	284,669	330,745
短期借入金	—	154,897
1年内返済予定の長期借入金	138,329	—
リース債務	4,368	1,470
未払金	115,674	113,807
未払費用	43,586	45,686
未払法人税等	57,093	31,808
未払消費税等	15,706	12,976
預り金	4,673	4,423
賞与引当金	28,183	43,826
返品調整引当金	393	653
ポイント引当金	3,024	3,644
その他	3,518	3,968
流動負債合計	847,948	906,676
固定負債		
長期借入金	1,117,510	—
リース債務	368	—
長期未払金	580	—
役員退職慰労引当金	125,878	129,157
資産除去債務	811	818
固定負債合計	1,245,148	129,976
負債合計	2,093,097	1,036,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	527,692	1,192,533
資本剰余金		
資本準備金	517,692	1,182,533
資本剰余金合計	517,692	1,182,533
利益剰余金		
利益準備金	1,500	1,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	378,293	444,093
利益剰余金合計	379,793	445,593
自己株式	△39	△84
株主資本合計	1,425,138	2,820,574
純資産合計	1,425,138	2,820,574
負債純資産合計	3,518,235	3,857,227

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日)
売上高	3,765,187	4,044,155
売上原価	2,299,073	2,424,499
売上総利益	1,466,114	1,619,656
返品調整引当金繰入額	2,454	260
差引売上総利益	1,463,659	1,619,396
販売費及び一般管理費	1,326,528	1,444,160
営業利益	137,131	175,236
営業外収益		
受取利息	33	26
債務勘定整理益	230	436
協賛金収入	474	676
助成金収入	335	1,273
償却債権取立益	30	—
開発支援金	700	—
雑収入	298	360
営業外収益合計	2,101	2,774
営業外費用		
支払利息	8,757	6,368
為替差損	432	406
支払手数料	25,709	3,049
株式交付費	2,410	5,560
コミットメントフィー	736	736
雑損失	467	491
営業外費用合計	38,514	16,612
経常利益	100,718	161,398
特別損失		
訴訟関連損失	7,900	—
特別損失合計	7,900	—
税引前四半期純利益	92,818	161,398
法人税、住民税及び事業税	44,609	57,738
法人税等調整額	△13,779	△5,525
法人税等合計	30,830	52,212
四半期純利益	61,987	109,185

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年11月29日 定時株主総会	普通株式	30,839	8.00	平成28年8月31日	平成28年11月30日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、平成28年11月18日付で、小田急電鉄株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が250,484千円、資本準備金が250,484千円増加し、第3四半期会計期間末において資本金が527,614千円、資本準備金が517,614千円となっております。

また当社は、第1四半期会計期間より、「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」を適用しております。この結果、利益剰余金が37,101千円増加しております。

当第3四半期累計期間(自平成29年9月1日至平成30年5月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年11月28日 定時株主総会	普通株式	43,386	9.00	平成29年8月31日	平成29年11月29日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、当第3四半期累計期間において、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行を行い、資本金が28,105千円、資本準備金28,105千円増加しております。

また当社は、平成30年3月6日付にて、小田急電鉄株式会社から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第3四半期累計期間において、資本金が635,800千円、資本準備金が635,800千円増加しております。

上記のほか新株予約権の行使により、当第3四半期会計期間末において資本金が1,192,533千円、資本準備金が1,182,533千円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(たな卸資産)

当社は従来、たな卸資産の評価基準について、取得から一定の期間を超える場合には原則として一定の率に基づき定期的に帳簿価額を切り下げた価額をもって貸借対照表価額としておりましたが、たな卸資産の保有、販売状況等に鑑み、たな卸資産に係る収益性の低下の事実をより適切に財政状態及び経営成績に反映させるため、第1四半期会計期間より、帳簿価額切り下げに係る一定の率について変更することとしました。

この結果、従来の方と比べて、当第3四半期累計期間の売上原価が37,290千円減少し、売上総利益、営業利益及び経常利益はそれぞれ同額増加し、税引前四半期純利益は同額増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、WEBサイトでのインナーショップ事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。